

ご挨拶

女性のスポーツ参加の歴史は男性に比べてはるかに浅く、夏季オリンピックの女性参加比率は第11回大会（1948年）まで1割に満たない状況でした。しかし、2021年の東京大会での女性アスリートの参加率は約48%と男性と肩を並べるまでになり、特に日本の女性アスリートの活躍ぶりは目を見張るものがありました。多くの女性アスリートが優れたパフォーマンスを見せてくれることは、幼い女子児童生徒達のスポーツ参加への興味を促すことにもつながることでしょう。しかし、女性のアスリートは増えているものの、指導者や役員などのサポートスタッフは圧倒的に男性が占めており、女性のスポーツを取り巻く環境には解決すべき課題がまだ多く存在しています。女性の身体機能、特に生理特性を十分に理解せず、過酷なトレーニングや食事制限を課した結果、内科的・整形外科的・婦人科的な健康被害をもたらしてしまうといった例が少なからず発生しています。トップレベルから学校の運動部や地域のクラブチームの部員に至るまで、すべての女性アスリートが心身の健康を損なうことなくパフォーマンスを向上していくためには、スポーツ医学研究の知見の積み重ねが必要です。しかし、これまでのスポーツ医学研究はもっぱら男性を対象に進められてきており、女性に関する科学的知見は、まだまだ十分に蓄積されていません。

本学は昨年、創立100周年を迎えました。大学の基本理念の1つに「女性の精神的身体的特質の研究を基盤にしたスポーツの科学的探究」が掲げられています。その理念の実現を目指して作られた基礎体力研究所も今年で開所34年目になります。そこで、今年のフォーラムでは、大学の基本理念を改めて再認識すべきと考え、「女性アスリートを支えるスポーツ医学研究」をテーマに掲げ、ゲストスピーカーに3名の先生方をお招きしました。

国立大学で初の女性アスリート外来を開設された産婦人科医でもある能瀬さやか先生には婦人科的視点から、宮本恵里先生には遺伝学的視点から、佐々木万丈先生には心理学的視点から、女性アスリートを支える研究成果をご発表いただきます。スポーツに取り組む女性の現在、そして未来のよりよいサポートに向けて議論を深めたいと思います。

日本女子体育大学附属基礎体力研究所 所長 沢井 史穂

申し込み方法

参加費：無料

参加ご希望の方は、
2023年11月20日(月)までに、
下記QRコードまたはメールにて
お申し込みください。

参加申し込みフォーム



<https://forms.gle/6ajdpHgX4GchxTtU6>

お問い合わせ

日本女子体育大学附属基礎体力研究所
〒157-8565 東京都世田谷区北烏山8-19-1
【E-mail】 kisotai@g.jwcpe.ac.jp
【URL】 <https://www.jwcpe.ac.jp/research/>

日本女子体育大学附属基礎体力研究所
第34回公開研究フォーラム

女性アスリートを支えるスポーツ医学研究

2023年12月2日(土) 13:00

日本女子体育大学 総合体育館 多目的ホール

日本女子体育大学附属基礎体力研究所 第34回公開研究フォーラム

女性アスリートを支える スポーツ医学研究

【プログラム】

13:00 開会挨拶

13:10 セッションⅠ
基調講演
「コンディショニングのための月経対策」
能瀬 さやか 氏 (国立スポーツ科学センター)

14:10 セッションⅡ
基礎体力研究所 成果報告
(ポスター発表)・休憩

14:45 セッションⅢ
「スポーツ外傷・障害の遺伝的リスク」
宮本 恵里 氏 (順天堂大学)

「心理学的ストレス研究の視点に基づく
女性アスリートの検討課題」
佐々木 万丈 氏 (日本女子体育大学)

16:00 閉会挨拶

アクセス

- 京王線「千歳烏山駅」
 - ・小田急バス「千歳烏山駅北口」より「吉祥寺駅」行き「日本女子体育大学前」下車すぐ(所要時間約7分)
 - ・徒歩20分
- JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」
 - ・小田急バス「吉祥寺南口」2番のりばより「千歳烏山駅北口」行き「日本女子体育大学前」下車すぐ(所要時間25分)

